山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり環境にやさしい米づくりや
豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2021年7月号

こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾通信

「害虫、益虫、ただの虫」

田んぼに足を入れるといろんな生き物が動いています。カエル、オタマジャクシ、イモリ、クモ、アメンボ、ゲンゴロウ類、貝類、ドジョウ、トンボ…

1970年代に、福岡県の農業改良普及員だった宇根豊さんが、増え続ける農家の農薬中毒を危惧して「虫見版」を用いた減農薬稲作を提案されました。田んぼにいる害虫の種類や数を調べることで、農薬の使用量を減らす取り組みです。このとき、田んぼの虫を調べてみると、害虫や益虫以外の虫がたくさんいることに気づき、「ただの虫」と命名したそうです。害虫はウンカなどの稲にダメージを与える虫、益虫はそれを捕食するクモなどです。害虫の発生に応じて、適切な時期・量の農薬を使用することで、農薬の使用量が減り、農家の健康被害が減ることを期待されたそうです。

また虫を観察することで、間違った時期の農薬散布が、かえって害虫を増やしてしまうことがわかりました。害虫の代表格ウンカは中国大陸から偏西風に乗りやってきます。もしウンカが発生する前に農薬を使用すると、天敵である益虫が死んでしまいます。そして、その後にウンカが飛来してくると…ウンカを捕食する虫がいない、ウンカにとっては天国のような環境が整い、大量発生につながっていくわけです。

害虫と益虫の関係性も面白いのですが、「ただの虫」というネーミングが大好きです。なんだか、人間社会でも同じことが言えるような？？小学校で習った食物連鎖では、食う食われるの関係性が続いていることが大事と教わりました。一見して害にも益にもならない「ただの虫」も、それがいなくなると、食物連鎖が途切れ、将来的には鳥や動物、人間にも大きなダメージが出てくるかもしれません。害のあるものを排除することで得られる安心感は、本当の安全にはつながっていないかも。何事もバランスが大切で、寛容な心をもって過ごしていきたいものです。（小森耕太）

宇根さんは、山村塾10周年記念シンポジウム「食卓の向こう側　里山・棚田」に演者として登壇いただくなど、昔から山村塾や椿原さんと交流がある方です。稲作や農に関する書籍、子供向けの田んぼの絵本など出されています。機会あれば絵本片手に田んぼに足を運んではいかがでしょう。

稲作コースより

2021 年の米づくりシーズンが始まりました。

5 月に予定していた「稲の種まき」は、緊急事態措置の発令により、残念ながら中止としましたが、6 月の「田植え」と「鴨進水式」は工夫をし、感染症対策を徹底しながら行うこととしました。昼食は無しで、午前と午後の 2 回に分け、短時間、少人数での開催です。

田植えは 2 日間、計 4 回行いました。それぞれ 2 時間のなかで、アイガモの見学、散策、お手植え田植えと盛りだくさん。ヒナがふ化する瞬間に立ち合うことができたり、なかにはミニ泥合戦が始まった組もありました。2 年ぶりに賑やかな田植えの風景が戻ってきて、田んぼの神様も喜んだことと思います。制限のあるなかでしたが、ご参加ありがとうございました！

7 月の「田の草取り」からは、通常に近いかたちで行っています。まだしばらくは定員を少なくしての募集となりますが、10 月の稲刈り、鴨さばきも 2 回に分けて行う予定です。また田んぼで一緒に汗を流しましょう！（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	WC	スタッフ	計
5/9	稲の種まき（中止、作業のみ実施）	2	0	0	8	10
6/12	田植え①※	19	0	1	7	27
6/13	田植え②※	29	7	0	6	42
6/20	鴨進水式※	33	0	0	8	41
7/11	田の草取り	25	1	0	5	31

※田植え、鴨進水式は午前・午後の 2 回実施

２年ぶりの田植えができました！

農家の声

誠です！しっかり夏ですね。梅雨が明けてから少雨続きで山間部の水路も厳しくなってきました。小学生は夏休みに。うちの娘、光葵も一年生になりました。今は通学時より少し早く起きて近所にラジオ体操に行っています。学校の授業もですがラジオ体操も楽しいそうです。一方でコロナにより夏休み中のプールはないそうで、学校から川で泳ぐことも禁止されているそうです。自分の子供の頃の夏休みの大きな楽しみの一つが川遊びでした。ひたすら毎日泳ぎに行っていたものです。

田植えが終わり、半月ほどたちました。毎年のことですが、予定の時期より遅れていたので、苗から「早く田んぼに植えてくれー」と毎日言われているようで気が気じゃありませんでした。なんとかかんとか大きなトラブルもなく無事に終わり、四季菜館で生まれた合鴨達も田んぼに出陣しました。しっかり草取りを頑張ってくれています。最近では餌やりに行くと、どこの田んぼでも慣れてきてピーピー鳴きながら寄ってくるようになりました。ヒノヒカリは出穂期が 8 月下旬なので、それまで田んぼで頑張ってもらいます。

鴨のひなが育雛されていたハウスでは、さっそくブロッコリーの苗準備が始まっています。気温が高くなるとキュウリの成長が勢い付き、収穫・出荷も盛りを迎え、忙しくなってきています。

稲は、田植え後 3 ～ 5 本の苗だったのが、今では早いところでは 20 本前後まで分けつが進みました。色も少し栄養不足気味で薄黄色だったのが、濃い緑に変化してきました。しっかりと成長している稲株を見ると安心します。これから合鴨達と一緒にすくすくと大きくなっていき、出穂後大きな台風が来ないことを願います。

自分はこれから、顔の高さくらいにまで立派に伸びた田んぼの畔の草を、お盆までには刈ってしまわねば！

稲作コース
椿原 誠

山林コースより

笠原で一番高い山のふもとにある、標高 700m を超えた " ケヤキ林” の下草刈りを行ってきました。今回、下草刈りは２回に分けて、大鎌を使い作業を行いました。７月４日の参加者は６名で、２反（2,000m²）のスギ林の下草刈りができました。また７月 25 日は、５名の参加で１反のクヌギ林と 0.5 反のスギ林、１km ほどの林道沿いの草刈りができました。暑い中の作業は大変ですが、標高が高いので、風が爽やかでした。お昼に、佐津美さんの手作り弁当を食べて、東屋で昼寝するひとときは最高でした。

７年前に植林したクヌギと６年前に植林したスギの苗木は、カヤに負けないくらいに大きくなりました。山の中段にある防風のために植えたスギは役目を果たしたので、数年前から巻き枯らしを始め、木が枯れたり、萎んだりなど成果が見えてきました。さらに山頂近くの、アカマツとヤマザクラはすごく元気で、濃い緑が見えています。27 年間、山林コースで手入れをしたケヤキ林は本当に種の多様性があり、色々な生き物が生息していると思います。（ファン ポウェイ）

日付	行事名	会員	一般	WC	スタッフ	計
7/4	下草刈り①	5	1	1	5	12
7/25	下草刈り②	3	2	0	5	10

※里山ミニワーク「お茶つみ」は中止しました

クヌギもすっかり大きくなりました

毎日暑い日が続いています。８～９月は、田まわりや茶畑の手入れと、山仕事の準備を予定しながら仕事をしています。

7/25 の山林コース下草刈りの作業では、参加の皆さん暑い中お疲れさまでした。クヌギ、スギ林の手入れがきれいにできました。

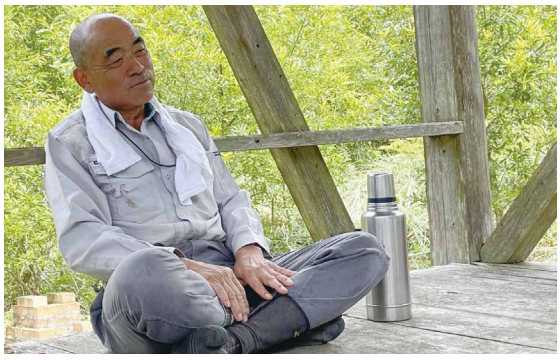
今年度の茶業はいつも以上に天候不順が影響し、茶摘みが例年より 10 日以上早く始まり、1 週間以上早く終わりました。4 月上旬の気温低下により全国的に霜害が発生し、京都を中心とした産地で被害を受けたため、八女茶の荒茶価格が前年に比べ上昇するという状態でした。お茶の生産量は、静岡がずっと日本一でしたが、今年はついに鹿児島へ移行したようです。全国的に見ると、機械化が進み、荒茶価格は下がっています。

今年は木材価格が昭和 57 年当時の価格に上がっています。3 月時点では 1 ㎥あたり 11,000 円でしたが、4 月には 25,000 円となっています。アメリカなどでの一戸建て需要の高まりにより、世界的に木材不足がおこり、日本国内での木材価格も倍以上になっています。ありがたいことですが、山主や林業従事者にとっては見返りが少なく、振り回されている印象です。またこの状況も一次的なもので、すぐに落ち着くのではという見方もあります。

とはいえ、国土の６割が森林を占める日本の豊富な森林資源が、これを機に見直されればいいなと思います。

みなさん、どうぞご自愛ください。また山で会いましょう。

山林コース
宮園 福夫



ボランティアレポート　2021 春・夏

山村塾では、ボランティアの協力を得ながら、米づくり、らっきょう等の栽培、草刈り、ヤギの放牧などを通じて、管理困難となった棚田を保全・活用しています。現在管理しているのは、水稲４反、梅林３反、ヤギ牧場とラッキョウ畑がある棚田１町です。

例年、年間 130 日ほどの合宿ボランティアを行ってきましたが、昨年からのコロナ禍で、国際ボランティアを募集することが難しくなりました。

そこで、日帰りでのボランティアを募集し、週１回の頻度で活動しています。今年は４月末から活動を始め、おかげさまで草刈りや田んぼの管理が順調に進んでいます。らっきょうと梅の収穫・加工も予定より多くできました。ありがとうございました。（ファン）

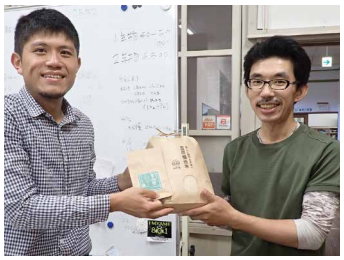
※今後は 8/23 より、50 日間の「奥八女芸農ワークキャンプ」を予定しています。また９月以降も日帰りボランティアを募集予定です。一緒に棚田で汗を流しましょう！

日帰りボランティア

４月～７月に計 12 回実施し、延べ 34 名の方々に参加頂きました。
活動内容：棚田の草刈り、田んぼ仕事（田植え、草取りなど）、らっきょう仕事、畑仕事、梅収穫、竹皮収穫など

（上）田の草取り
（右）らっきょう加工

中長期ボランティア　2021.5.12 ～ 7.18



たった１人のワークキャンプ

永田 和宏

５月 12 日、福岡県に「緊急事態宣言」が発出されました。と同時に滋賀県からやって参りました。本来この時期は多国籍 5、6 人での 80 日ワークキャンプを実施しているはずなのですが、このコロナ禍で色々と制限もあり、たった一人で個人での参加となりました。

今回、参加するにあたって多少の不安はありましたが、直ぐに払拭されます。それは笠原の人達がとても優しく親切に受け入れて頂けたからでしょう。わずか一人どれだけの事が出来るのか、どれくらいお役に立てるのかと思いましたが、やれる事を全力でやるそれだけでした。

また、ヤギ達の存在も大きく、毎日お世話しているうちに慣れてくるものです。産まれて間もないつくしちゃんも、初めは怖いものを見る目で怯えていたものの、いつの間にか歩いている自分についてくる程懐いて、癒しの存在となっていました。

実際のワークはまた新鮮で楽しくて、新しい体験と発見の連続でした。前半は毎日らっきょうに囲まれて、収穫から選定、塩漬けされて甘酢漬けまで、笠原の人達と交流を深めながら作業でき有意義な時間をたっぷり過ごすことができました。

後半は田植えに向けての準備が始まり、苗を作るところから参加しました。棚田の草刈り、水路の整備、石垣の草取りなど植えるまでの大変さもありましたが、実際の苦労は植えてからが本番でした。棚田だからこその水の管理が難しく、水位が高くてもダメ、低くてもダメ、そして天候にも左右される。平地では考えられない苦労がそこにあり、日本の各地から棚田が減っていくその理由も分かったような気がします。

それでも、田植えが終わった棚田を見た時は想像以上に美しく日本の原風景をこんな間近で肌で感じる事ができ、とても穏やかで幸せな気持ちになりました。そしてこれらの景観を守るその活動もまた素晴らしい事だと改めて考える様になりました。

この山村塾が担っている活動に少しでも参加できたことを誇りに、今後の自分自身の人生活動に生かしていきたいです。

山村塾ニュース

このたび、山村塾の YouTube チャンネルを開設しました！

みなさんに笠原の風景や、農家さんの声などをもっと伝えられたらと、動画での発信に挑戦しています。内容は､米づくりの様子やヤギのこと、チェーンソーの使い方､「八女茶山おどり」の解説などなど。少しずつ更新中ですので、ぜひ覗いてみてください。チャンネル登録もよろしくお願いします！

←リンクはこちらより

山村塾 Youtube　検索

福岡県受託事業として 森林づくり活動安全講習会 実施中です！

福岡県内の森林ボランティアを対象とした安全講習会を開催しています。今年度は全 8 回を予定しており、前期（6 ～ 7 月）は、基礎知識や、草刈機の安全な取り扱いに関する講座などを行いました。今後は 10 月以降に、手道具による間伐、竹林整備や、チェーンソーの取り扱い講座を実施予定です。すでに取り組んでいる方も、これから始めたい方も、どなたでも参加できます。詳しくは、山村塾ホームページをご覧ください。

▶今後の予定

- 10/16（土）手道具による間伐
- 10/23（土）竹林整備（八女会場）
- 12/4（土）竹林整備（北九州会場）
- 11/3（水祝）、12/11（土）チェーンソーの取り扱い
- 1/22（土）～ 23（日）上級者編「チェーンソーによる伐木造材」

その他の活動報告

日付	活動内容	会員	一般	WC	スタッフ	計
4/4	里山ミニワーク「農産物加工（みそ）」	8	2	0	7	**17**
4/11	全体行事「顔見せ会」	41	1	0	14	**56**
5/22-23	里山ミニワーク「棚田の草刈り」	4	1	1	6	**12**
5/30	通常総会（オンライン）	9	1	0	7	**17**
7/17-18	宮永ワーク	0	7	1	3	**11**

2021 年度最初の行事は「顔見せ会」。みんなで山菜を探しながら、ケヤキ林へハイキングしたり、稲作・山林コース合作の山菜弁当を囲みながら座談会を行いました。

山村塾 今後の予定

日程	行事名
8/22（日）	稲作コース「鴨の引き上げ」
8/26（木）	ボランティア向け草刈機講習会
8/28（土）～ 29（日）	里山ミニワーク「棚田の草刈り」
10/9（土）・10（日）	稲作コース「稲刈り」※ 2 回開催
10/17（日）	山林コース「枝打ち」
10/23（土）・24（日）	全体行事「鴨さばき」※ 2 回開催
11/14（日）	全体行事「収穫祭」※検討中
11/27（土）～ 28（日）	里山ミニワーク「炭焼き・間伐」
11/28（日）	山林コース「間伐」

行事および里山ミニワークの開催については、状況に応じて随時判断します。最新情報はホームページ、メールニュースにてご案内します。

※ FAX や郵送でのご連絡を希望される方は、事務局までお知らせください。

事務局より

認定 NPO 法人山村塾 会員募集中！

〇会員の種類は、総会での議決権を持つ正会員と議決権を持たない賛助会員の 2 種類です。
〇いっしょに田んぼや山で働く活動コース会員（稲作・山林、稲作、稲作 30kg、山林、古里）も、いつでも募集しています！

ご寄附のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。
＜ヤマヤマ基金＞農山村の環境を守る活動全般に役立てられます。

▶ご寄附の方法

■郵便振込口座から
加入者名：特定非営利活動法人山村塾
口座番号：０１７９０－３－１６９３９８

■銀行から
銀行名：ゆうちょ銀行　店名：一七九（店番：１７９）
口座：当座　０１６９３９８
※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレスをお知らせ下さい。

■農産物を買う
会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。

■古本で寄付ができます！
古本や DVD を「きしゃぽん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄附したい旨をお伝えください。）

◎年会費納入

以下の方々から年会費を納入いただきました。ありがとうございます。（7/14 入金まで。敬称略）

■正会員：藤井勝己、石津和紀、古賀信夫、木村陽子、中村竜三、金澤真里、椿原寿之、椿原まり子、宮園福夫、宮園佐津美、福岡翔学館高等学院川原秀之、森山正、覚知康博、原口朝木

■賛助会員：吉田博幸、西田雅文、ファンポウエイ、園村弘、田中秀明、北島みどり、下里さゆり、関屋朝美、前島美江、堀内利治、静間純、森順子、東島健、萩尾孝博、中原俊和、河野薫、井上俊次、柿原孝子、木下能成

■活動コース会員：【稲作・山林】木村陽子
【稲作】西田雅文、石津和紀、下里さゆり、関屋朝美、冨吉満之、中村竜三、覚知康博、小森琢馬、東島健
【稲作 30】田中久昭、出塩亜希子、東祥代、松隈友香、髙橋由美子、森順子、河野薫、柿原孝子
【山林】小森文子、福岡翔学館高等学院川原秀之、前薗良一、古賀仁美、屋良貴宏
【古里】古賀信夫、田中秀明、森山正、迫盛寛、静間純、近藤雅直

◎寄附者

以下の方々から頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。（7/14 入金まで。敬称略）

■ヤマヤマ基金：林三鈴、西田雅文、毛利宗孝、森田晴男、石津和紀、田中久昭、下里さゆり、宮園福夫、椿原勇人、山中祥子、たからばこ職員有志一同、福岡翔学館高等学院川原秀之、鳴滝隆史、前薗良一、川﨑章惠、迫盛寛、高橋康太郎、覚知康博、静間純、西濱亜由香、吉田雄一、森順子、萩尾孝博、井上俊次

◎企業・団体からの寄附

■ 6/30、KDDI 株式会社九州総支社様から 440,620 円のご寄付（社会貢献活動「＋αプロジェクト」）をいただきました。棚田や森林の保全活動に活用させていただきます。

■古本募金きしゃぽん様を通じてご寄附をいただきました。（4/20:2,825 円、5/27:2,837 円、6/18:1,932 円）

編集後記
写真も動画も、スマホで本当に気軽に綺麗に撮れるようになりました。ついつい撮りすぎて、データがすぐにいっぱいになってしまいます。これは活用しないと宝の持ち腐れです…。もったいないので、編集してちゃんと表に出していきたいと思うこの頃です。日々勉強です！（原）

最新情報は
ホームページより

山村塾　検索

https://sansonjuku.com

＼お問い合わせ大歓迎！／

山村塾（こめづくり もりづくり ひとづくり）　認定 NPO 法人 山村塾
〒 834-1222　福岡県八女市黒木町笠原 9836-1
TEL・FAX 0943-42-4300
Email：info@sansonjuku.com　HP https://sansonjuku.com
FB　https://www.facebook.com/sansonjuku
発行者：小森 耕太
編集者：原 愛子
※山村塾は認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄付は寄付金控除の対象となります。